

平成30年度

横浜市市民活動支援センター事業評価報告書

平成31年3月

横浜市市民協働推進委員会

<目次>

1	経緯	1
2	評価対象事業	1
3	横浜市市民協働推進委員会委員	1
4	横浜市市民協働推進委員会開催経過	1
5	横浜市市民活動支援センター事業評価基準	1
6	評価講評	2
	(1) 横浜市市民活動支援センター運営事業部門 (特定非営利活動法人市民セクターよこはま)	2
	(2) 横浜市市民活動支援センター自主事業部門 (特定非営利活動法人アクションポート横浜)	4
7	横浜市市民活動支援センター事業部会委員	6
8	横浜市市民活動支援センター事業部会及び市民協働推進委員会開催経過	6
9	評価講評 横浜市市民活動支援センター自主事業部門 (特定非営利活動法人横浜市まちづくりセンター)	7

【別紙】 横浜市市民活動支援センター事業評価基準

1 経緯

平成 30 年度横浜市市民活動支援センター事業について、横浜市市民協働推進委員会及び横浜市市民活動支援センター事業部会は、評価基準に基づき、事業報告書等の書類及びヒアリングにより、事業の評価を行ってまいりました。

この度、評価結果を、報告書にまとめましたので、ここに提出します。

2 評価対象事業

(1) 横浜市市民協働推進委員会での評価（P 2～4）

ア 横浜市市民活動支援センター運営事業部門【平成 26 年度からの 5 か年事業】

実施主体：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

イ 横浜市市民活動支援センター自主事業部門【平成 29 年度からの 3 か年事業】

「地域の若手職員のキャリアを考え、みんなで育つネットワークづくり」

実施主体：特定非営利活動法人 アクションポート横浜

(2) 横浜市市民活動支援センター事業部会での評価（P 7）

ア 横浜市市民活動支援センター自主事業部門【平成 30 年度 1 か年事業】

「活動を展開する居場所づくり支援事業」

実施主体：特定非営利活動法人 横浜市まちづくりセンター

3 横浜市市民協働推進委員会委員

役職	氏名	所属等
委員長	中島 智人	産業能率大学 経営学部教授
委員	田邊 裕子	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会地域活動部長
委員	時任 和子	特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク 理事長
委員	林 重克	特定非営利活動法人 オールさこんやま理事長 旭区連合自治会町内会連絡協議会副会長
委員	治田 友香	関内イノベーションイニシアティブ株式会社 代表取締役社長
委員	松岡 美子	特定非営利活動法人 グリーンママ理事長
委員	松村 正治	恵泉女学園大学 人間社会学部准教授 特定非営利活動法人 よこはま里山研究所 NORA 理事長
委員	三輪 律江	横浜市立大学 学術院国際総合科学群准教授

4 横浜市市民協働推進委員会開催経過

委員会	開催日	内容
第 3 期第 6 回委員会	平成 30 年 6 月 26 日 (火)	○ 横浜市市民活動支援センター自主事業について 事務局から説明
第 3 期第 10 回委員会	平成 31 年 3 月 27 日 (水)	○ 横浜市市民活動支援センター事業（運営事業・自主事業）の事業報告について、事業実施団体から説明及びヒアリングの後、意見交換（非公開）

5 横浜市市民活動支援センター事業評価基準

別紙「横浜市市民活動支援センター事業評価基準」のとおり

6 評価講評

(1) 横浜市市民活動支援センター運営事業部門【5か年事業】

実施主体：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

評価項目		講 評
市民活動支援センター事業	相談対応	<ul style="list-style-type: none"> ・事業チラシやHPからも相談しやすい体制づくりが感じられた。 ・中間支援組織による連携相談という、新しいスタイルに挑戦しており、試みとして面白い。 ・役割分担について、明確にするという訳ではないが、さまざまなケースを検証する必要があるように感じた。 ・多くの相談に対応できた。広範囲すぎて丁寧な対応ができたのか？ ・区の市民活動支援センターの相談業務のスキルアップも意識して欲しい。 ・当初目的とのずれを明示し、改善に活かす姿勢を示すといい
	情報提供・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な発信がなされている。 ・ホームページのデザイン変更や相談フォームの作成により、アクセス増加などの効果が現れている。 ・情報誌「animato」は、内容が絞り込まれており、市民活動団体の関心の高いテーマを取り上げ、また、市内の活動を紹介する機会となっており、大変興味深い。 ・事業名に英語が多用されており、一般の人に分かりにくいと感じる。
	各区の市民活動支援センターとの連携や運営支援	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な区の市民活動支援センターと、適切な関係を構築しようとしている。 ・区の市民活動支援センターの相談、情報提供のスキルの向上をどう計るか。 ・区の実情に沿った区の市民活動支援センターだが、市民活動・協働・連携等の情報が豊かになるよう支援を望む ・連携ネットワークが弱い ・区とのかかわり方が今一つ見えなかった。 ・区の市民活動支援センターの望ましいあり方について、市とも協力してより積極的に発信してもいいのではないか。
	マネジメント支援	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の講座を用意した。 ・リモートワーク、シェアサービスなどのテーマも検討していただきたい
	多様な主体間のネットワーク構築	<ul style="list-style-type: none"> ・WeWorkを拠点に企業連携を強化しようとしている。 ・多様な主体とのネットワークができている。 ・Face to Faceの取り組みから、大規模なフォーラムまで、多様な事業を通して、参加者とのネットワークだけではなく参加者相互のネットワークが作られている。 ・多くの参加を得られて成功した。 ・多様なネットワーク構築の試みは評価できるが、区の市民活動支援センターの支援力強化との関連性を示してほしい。 ・概ね出来ているが、連携できているところをもっと広げるための支援をどうしていくか
	共同オフィス	
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・管理体制等は出来ており、少人数ながら頑張っている。人員の確保と育成は、今後も常に課題となると思うので、さらなる努力が求められる。 ・西日本豪雨災害時に職員を派遣して、経験を積み、一時避難施設としての体制準備を進めている。 	
横浜市との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・進められている。 	

<p>総評</p> <p>■概ね順調に進んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレイングアドバイザーによる相談ネットワークの在り方など、丁寧に対応しているが、一方でネットワークをそこまで丁寧に組むべきか、区の市民活動支援センターの役割との兼ね合いがわかりづらい。 ・全体的に丁寧に事業に取り組まれたような印象があり、中間支援組織との連携、企業との連携を強化しようとした点は評価できる。一方で、経営資源の乏しい地域団体が抱える課題を解決することに対しては、関心が薄れたようにも感じられた。 ・施設管理や相談業務などの日常業務に加え、情報誌、ワークショップ、フォーラムなど、市内の市民活動支援に対する貢献は、とても高く、担い手としての若手スタッフも充実している。 ・中間支援組織や区の市民活動支援センターとの連携では、相手方が多様であるということもあり、役割分担を模索しながら進めていると思われる。市民活動支援のさまざまなニーズ（例えば、これから始めたい市民の支援、市民活動団体の組織支援など）を踏まえ、適切な役割分担の方法を提案してもいいのではないかと。
------------------------------	---

(2) 横浜市市民活動支援センター自主事業部門【3か年事業】

事業名：「地域の若手職員のキャリアを考え、みんなで育つネットワークづくり」

実施主体：特定非営利活動法人 アクションポート横浜

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業運営	横浜市市民活動支援センター事業を担う他の団体との協力・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・広範囲の参加を得て実行できた。 ・連携のあり方について、事業開始の段階で目標を明確に定めてほしい。例えば、中間支援リストのうち、何件に声掛けし、参加目標何件などといった具合に ・事業の視野が狭く感じる。専門家の協力を仰ぎ、他団体との連携を図るべき。
	予算	<ul style="list-style-type: none"> ・特に人件費を適切に管理して、限られた予算を求められる成果に結び付けて、有効に活用してほしい。 ・ほぼ人件費と成果物だが、その必要性を明確にしてほしい。 ・この事業にかかる事務局の役割、その上での人件費の内容がわからない。 ・ほとんどスタッフの人件費に使用されているが、費用対効果は低い。 ・人件費部門が大半を占めているが気になった。
事業計画	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足、働き方の変化、中間支援機能という事業内容は、多くの市民活動団体やそこで働く人に、関心の高い内容であり、事業への期待も大きい。 ・NPOの必要性をとらえている。 ・今後続く取組が見えた。 ・ビッグデータ・AI時代、人生100年時代のキャリア形成という文脈で、「みんなで育つ」ことの意味を捉えるべき。組織開発、経験学習等の分野で、すでに多くの研究や実践が重ねられている。 ・仲間内の学び合いに補助金を支給しているわけではないはず。 ・ニーズ把握がなされないまま事業が進んでいることが問題。組織内の問題が全体の問題として認識されていることに違和感がある。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・期末の交流会は、2年間の成果が発揮された内容だったように思われる。 ・試行錯誤のように見えるが、関わる若手と一緒に、あきらめずに前進して欲しい。 ・ハンドブック作成、プログラム開発まで進むはずだった計画に対して、進捗が遅れているが、その理由が半然としない。 ・当初予定になかったカバン持ち体験が1日体験では把握しきれなかったのでは。 ・当初の計画とずれがあるように思う。 ・この2年間、予め示された事業が計画通りに進んでいない。3年目はきちんと事業進捗をはかること。
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・それなりの効果はあったと思うが、今後より一層の取組の工夫を願う。 ・これまでの2年間の助成金が無駄にならないよう、事業の成果をカタチにして、次につなげて欲しい。 ・市民に対しての満足度をどう計るのか、具体的なものが見えにくい。 ・アウトプットをしっかりと出してほしい。

<p>総評</p> <p>■改善の余地がある (条件付事業継続)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの2年間の事業を通して、同じ課題を抱える人たちやそれを支える人たちとの交流から、課題の整理ができたのではないかと思います。 ・2年間蓄積された成果を、ハンドブックや育成プログラムとして、まとめることを重視してほしい。ターゲットを明確にして、この事業の成果を伝え、より開かれた事業になることが期待される。また、「成果物」は完成して終わりなのではなく、それが活かされる場面も検証する必要がある。 ・若手のネットワークをつくる点では、小さいながらもある程度はできつつある。 ・とはいえ、2年目である中で、やはり小さなグループ内での自主勉強会にしかみえない。また「韋持ち体験」についてもあくまで数名の試行的な動きに過ぎず、期待される具体的な効果にも目新しい知見が読み取れないため、費用対効果としては思わしくないのではないかと。 ・事業の志が低い。NPO職員のキャリア形成という小さな目的ではなく、社会を構成する多様な人びとのキャリア形成にとって、NPO活動の経験がどう生かせるかという広い視野から考えて欲しい。 ・費用対効果が低い。専門家の助言、経験のある他団体との連携などに費用をもっと充てて、団体内の知的資源を増やさなければ、公益性の高い事業になるようには思えない。 ・これまでの2年間の助成金が無駄にならないよう、事業の成果をカタチにして、次につなげて欲しい。 ・経費の見直しが必要では？ ・他の委員のとおり、当初予定から軌道修正があり、事業の遅れがあるため。 ・私は委員になってから、ずっと訴えてきたことだが、本プログラムの再構築を望みます。中間支援組織のみを対象にすることによって、エントリーできる団体が限られてしまう。 ・もし、中間支援組織の力量アップを図るのであれば、別事業企画すべき。その内容については協働推進委員会にかけていただきたい。(中間支援に求められるスキルが変化しているため) ・計画通り確実に事業が遂行するように、逐次活動報告を条件にしてはどうか。
--	--

7 横浜市市民活動支援センター事業部会委員

役職	氏名	所属等
部会長	坂口 緑	明治学院大学 社会学部 教授
専門委員	木下 勇	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授
専門委員	鈴木 やよい	特定非営利活動法人 横浜市民アクト理事
委員	田邊 裕子	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会地域活動部長
専門委員	山根 誠	特定非営利活動法人 親がめ理事長

8 横浜市市民活動支援センター事業部会及び市民協働推進委員会開催経過

委員会	開催日	内容
平成30年度 第2回市民活動 支援センター事業 部会	平成30年11月15日(木)	○ 横浜市市民活動支援センター自主事業 中間報告(事務局から説明)
平成30年度 第9回市民協働 推進委員会	平成30年12月17日(月)	○ 横浜市市民活動支援センター事業 運営事業・自主事業中間報告(事務局から 説明)
平成30年度 第3回市民活動 支援センター事業 部会	平成31年3月14日(木)	○ 横浜市市民活動支援センター自主事業 事業実施団体から説明及びヒアリングの 後、意見交換(非公開)
平成30年度 第10回市民協働 推進委員会	平成31年3月27日(月)	○ 横浜市市民活動支援センター自主事業 事業評価・検証について報告(事務局から 説明)

9 評価講評

横浜市市民活動支援センター自主事業部門【1か年事業】

事業名：「活動を展開する居場所づくり支援事業」

実施主体：特定非営利活動法人横浜まちづくりセンター

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業運営	横浜市市民活動支援センター事業を担う他の団体との協力・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションポート、横浜プランナーズネットワークと企画した第一期目の講座により、多くの団体に注目される講座になったことが評価できる。 ・市民活動支援センターとの関係を今後も継続していただきたい。 ・期待以上に協力・連携がなされている。 ・さまざまな業態との連携ができていて大変良い。市民活動を支えるための底支えとして着眼されていて評価できる。 ・他団体と連携がよくできている ・プランの組立遂行にあたり、他団体からよくアドバイスをもらい、ネットワークを作ることができた。
	予算	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ数の増えた冊子について紙を変更するなど経費節減の工夫が見られる。 ・決して多いとは言えない予算を活用し、十分な費用対効果をあげている。 ・特に問題はない
事業計画	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今まさにニーズが高まっている課題に正面から向き合う活動である。 ・不動産を所有する貸主側のもつ懸念を払拭するような活動も今後、ぜひ期待したい。 ・アンケート調査や研修会を通して、ニーズ把握を行っている。 ・ニーズに対応している。 ・空き家問題に特化したように思われたが、それも現在の状況を反映している ・最近の市民活動の多くは場を必要とすることが多い。そのニーズにかなっている。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間を有効に利用し、第一期、第二期の講座を開催できている。成果物としてのパンフレットの作成も役立つと思われる。交流会の企画についても期待できる。 ・事業計画書に盛り込まれたことが、期待以上に実現されていると考える。 ・時期・方法とも適切であった。 ・概ね実施できた ・講座、その後講座内容や結果から改めてわかりやすいパンフレットの作成まで、よく練れた内容のものが作成できた。
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市にこのような団体があることが関係各位に伝わったこと自体も大きな意義があると思える。相談会での3件についても、実際のコンサルタントにつながり、意義のある展開だった。 ・「ガイドブック」を発行し、誰もが共有できる成果物を得たのは、これからの市民活動の活性化に貢献できると思われる。 ・成果物がよく出来ていて、大変良いと思います。 ・ニーズが今後ますます高まる課題で、期待できる ・SNSで案内、WEBにガイドブック公開していくとよい ・今後、このテキストを必要とするNPOとのやり取りで有効活用できる。
総評	<p>■ 当初計画を上回る事業効果があった</p>	

横浜市市民活動支援センター事業評価基準

運営事業部門

評価項目	着目点・説明	特記事項		
		評価できる点	改善が望まれる点	
市民活動支援センター事業	相談対応	<ul style="list-style-type: none"> ・団体運営全体を理解し、丁寧な対応が行われたか。 ・他団体・機関等と連携した対応が行われたか。 ・相談対応力を高める努力がなされたか。 		
	情報提供・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動に資する、有効な内容になっていたか。 ・市民公益活動への理解・参画に繋がる内容になっていたか。 ・団体ニーズに応える情報提供・発信が適切に行われたか。 		
	各区の市民活動支援センター事業との連携や運営支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市と区の市民活動支援センター事業の役割分担を踏まえた連携や運営支援策が行われたか。 ・地域支援・団体支援・協働等について必要に応じての支援機能を果たされたか。 		
	マネジメント支援	<ul style="list-style-type: none"> ・団体運営に関するマネジメントに寄与するような支援策を企画することができたか。 		
	多様な主体間のネットワーク構築	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体間のネットワーク構築を行い、課題解決のための相互支援や連携を促すことができたか。 ・自主事業団体と相互に協力・連携が果たされたか。 		
	共同オフィス	<ul style="list-style-type: none"> ・共同オフィス事業を理解し、入居団体の自立支援や活動の活性化が果たされたか。 		
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的に業務を継続できる人員が確保され、育成されたか。 ・個人情報漏えい等の事故を未然に防ぐための計画や体制がとられているか。 ・緊急時の対応が可能な管理運営体制となっていたか。 ・適正な経費執行及び経費節減の工夫がなされたか。 			
横浜市との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の6原則に基づき、役割分担を行い、事業を進めることができたか。 			
<p>総評</p> <p>※いずれかにレ点</p>	<input type="checkbox"/> 期待を大きく上回った <input type="checkbox"/> 期待を上回った <input type="checkbox"/> 概ね順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 改善の余地がある			

2 自主事業部門

評価項目	評価の着目点	説明	特記事項	
			評価できる点	改善が望まれる点
事業運営	横浜市市民活動支援センター事業を担う他の団体との協力・連携	横浜市市民活動支援センター事業を担う他の団体（自主事業部門・運営事業部門）と相互に協力・連携が果たされたか。		
	予算	経費執行が適正であるとともに、経費節減の工夫がなされたか。		
事業計画	事業内容	事業内容は市民活動のニーズを捉えたものであったか。		
	事業計画	実施時期や方法が適切で、計画通りに実施されたか。		
	期待される効果	市民の満足度が高まり、具体的な効果があったか。		
<p style="text-align: center;">総評</p> <p>※いずれかにレ点</p>		<input type="checkbox"/> 期待を大きく上回った <input type="checkbox"/> 期待を上回った <input type="checkbox"/> 概ね順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 改善の余地がある (条件付事業継続)		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がない (事業継続不可)		